

創

—第72回—

国際都市 別府としての役割

ロシアがウクライナに侵攻しました。被害に遭っているのは、何の罪もなく平和に暮らしていた人々。国際社会はかつてない結束でロシアの侵攻に対し、あらゆる制裁とその準備をしています。

特にEU、イギリスなどは、それぞれに抱えていた難しい問題を一時棚上げしてまで同調して動いています。それほどの危機だということです。

背筋が凍ったのはウクライナの原子力発電所への攻撃です。どのような理屈を並べても、他国の原発を砲撃する正当な理由などありません。戦争中であれ、どんな手段を用いても良いということではないのです。

そして全ての世界中の国々はそれを受け容れてきたはずですし、これは世界を破滅に



別府市長
長野 恭紘

追いやる挑発と言わざるをえません。

日本も当然ロシアへの制裁とウクライナ支援に向けて様々な対策を発表しています。事情は異なるとはいえ、日本もロシア、中国と国境を接しています。日本だけが平和を望んでも、いとも簡単にそれは破られるという現実を、学習するしかありません。今回政府は、ウクライナからの避難民の受け入れを表明しました。

我が別府市も、世界90か国の留学生が住む国際都市として、ウクライナ避難民を受け入れたいと政府に伝えました。

別府市としても、この戦争の即時停戦と速やかな解決を願ひ、今できる役割をしっかりと果たしたいと思ひます。

(3月7日執筆)



フォトべっぴ



火の用心—3月1日、全国火災予防運動期間として、市内の園児らが拍子木を叩きながら街頭で啓発運動を行いました。園児らは「火遊びはしません」「火事にならないように気をつけます」などと行き交う人に火災予防を呼びかけました。



動く小さな図書館—新図書館等整備事業として2月21日～3月18日、まちなかで本に触れる機会や場を創出する「リモートライブラリー+」(書架)を市内4か所に設置し、一部には九州経済データベース「DATA SALAD」機能も拡張しました。



日本代表候補選手の強化—2月20日～26日、3月9日～17日、実相寺多目的グラウンドで「ラグビー男子セブンズ(7人制ラグビー)・デベロップメント・スコッド」の別府合宿が行われました。公開練習では、観客も訪れ選手にエールを送っていました。



王座奪還を目指す—2月28日、別府市・由布市をホームタウンとするJFL(日本フットボールリーグ)所属のヴェルスパ大分の監督や選手ら4人が、2022シーズン開幕の前に、市長を表敬訪問しました。それぞれ今シーズンの意気込みを熱く語りました。